

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と岡上小学校の取組

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本年度は、
つよい子（学び・体力）：自ら粘り強く学ぶ 自分を知り、よりよくあるよう努める
正しい子（関係性）：関係性の中で自分の在り方を考える
ほがらかな子（人間性）：自らを認めることと同じように相手を認め、尊重する
の3点を学校教育目標とし

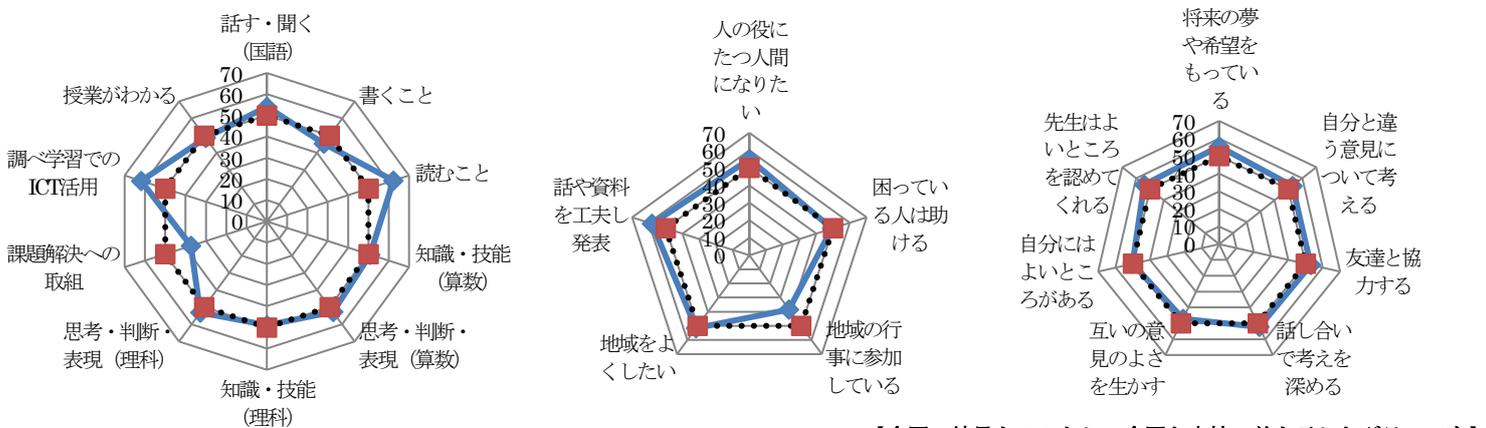
- 主体的な学び合いと習得・活用・探究を通した質の高い学習の実践
 - 人と地域と自然とに主体的に関わり、その良さを活かす学習の推進
 - 人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進
- を学校経営方針として日々の教育活動に取り組んでおります。

このたび、4月19日（火）に6年生を対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果内容を、本校の学校目標ならびに学校経営方針を踏まえ、学校づくりに生かす視点から分析を行いましたので、今後の取組について報告いたします。なお、本調査によって測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校教育活動の一側面であることが調査の実施要領に示されております。したがって、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標とお考えいただきたいと存じます。

今後とも児童一人ひとりに寄り添った教育活動の推進に努めてまいりたいと考えております。

1 調査結果概要

主体的な学び合いと習得・活用・探究を通した質の高い学習の実践	人と地域と自然とに主体的に関わり、その良さを活かす学習の推進	人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進
--------------------------------	--------------------------------	------------------------------------



2 調査結果をもとにした今後の取組

結果の概要 分析 課題 今後の取組

※表示している数値・・・「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の合計、()は全国の数値

(1) 「主体的な学び合いと習得・活用・探究を通した質の高い学習の実践」の調査結果

【これまでの課題に対する学校の取組】

これまでは正確な言葉や漢字を使った表現力、文章内容を正確に読み取る力などが課題となっていました。短時間での反復学習や意見交流の場を積極的に取り入れることで、力の定着を図ります。

① 読むこと 78.9%(66.6%)	① ②読むことは12.3ポイント、話すことは4.1ポイント、全国平均を上回りました。文章構成を意識した読み取りや、話し手が伝えたいことの本質を捉えることを意識させた学習活動の成果と捉えています。
② 話すこと 70.3% (66.2%)	
③ 調べ学習でのICT活用 55.8%(43.9%)	
① 書くこと 43.8%(48.5%)	③ ICT活用は11.9ポイント、全国平均を上回りました。1人1台端末の活用で多様な学びを充実させてきた成果だと考えております。お互いの考えなどを交流するなど、協働的な学びを実現する教育活動を継続してまいります。
② 課題解決への取組 64.7%(77.3%)	

①文章のよさを書く設問の正答率は28.1%であり、分かりやすい文章のよさを見つけることに課題があると考えております。また、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたかという設問では、64.7%でした。学習において、課題を自分で設定する経験がまだ少ないと考えております。

自分の考えが伝わる文章を書くためには、伝えたいことをはじめに明記したり、根拠を明確にしたりすることが大切であると考えます。思いや考えを述べるだけでなく根拠を文章の中に記述する必要があることを理解させたり、分かりやすい文章のよさを感じさせたりするように指導の充実を図ります。また、子どもたちが興味関心を広げ、自ら課題を設定していく体験を積んでいけるような学習展開の工夫をしていきます。

(2)「人と地域と自然とに主体的に関わり、その良さを生かす学習の推進」と

(3)「人権と多様性を認め、尊重することを基にした学習、児童理解と支援の推進」の調査結果

【昨年度の課題】「将来の夢や目標をもっていますか」の回答が昨年度は全国平均を下回っていました。夢や目標をもつためには、自分自身を肯定的に受け止めることが必要だと考えます。自己肯定感を伸ばし自他ともに認められる児童の育成を目指します。

- ①将来の夢や目標をもっている
85.3%(79.8%)
- ②人の役に立つ人間になりたい
100%(95.1%)
- ③話や資料を工夫し発表
73.5% (65.4%)
- ①学級会でよさを生かしてきめる
70.6% (73.5%)
- ②地域の行事に参加
41.1% (52.7%)

- ① ②「将来の夢や目標をもっている」が5.5ポイント、「人の役に立つ人間になりたい」という思いをもっているが4.9ポイント、全国平均を上回りました。「キャリア在り方生き方教育」の推進や、様々な行事の中でみんなで作り上げ、やり遂げるよさを大切にしてきた成果と考えています。
- ③「話や資料を工夫し発表」は8.1ポイント、全国平均より高くなっています。人とのかかわりに関する質問には、ほぼ全国平均を上回っています。相手意識をもたせながらかかわりを大切にした学習や学校行事の工夫の成果と考えています。

- ①「学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めているか」では、全国平均を下回っていました。一方で自分と違う意見について考えることについては全国平均を上回っています。互いの意見を聞くだけでなく、そこからよりよい方法を生み出していくことに課題があると考えております。
- ②「地域の行事に参加」が今回、全国平均を下回りました。これまで行われていた地域の行事が行えなかったためだと考えられます。

人とのかかわりを大切にしたいという姿勢は全国平均と比べ、全般的に高くなっています。また、地域の行事への参加については昨今の情勢を反映して低くなりましたが、地域をよくしたいという思いや、人の役に立ちたいという思いがあります。総合的な学習の時間などを通して、地域の方々とのかかわりを持ち、人々の思いに気づいていけるように学習を工夫することや、様々な行事や活動などを通して、アイデアを出し合いながら友達と協力し、作り上げる体験を積み重ねられるようにすることを大切にしていきたいと思います。また、自分の考えや思いを言葉にしたり、友達と交流し、対話し、深めていけるような授業の進め方の工夫を努めます。

教育委員会から

岡上小学校では、「自分や友だちの考えから学びを深める学習」をテーマに国語の校内研究に取り組んでいます。言葉を通して思いや考えを伝え合うことや、日常の授業において様々な学習形態による意見交流を取り入れてきたことにより、子どもたちには主体性や、協働的に学ぶ姿勢が育まれています。また、異学年交流なども工夫して行われており、子どもたちの自主的活動の充実により、一人ひとりの自己有用感が高まり、学校に行くのが楽しみという子どもたちの姿として表れているととらえております。 【麻生区・教育担当】